



発行日 令和2年1月10日 発行元 いいさか光典 〒594-1121 和泉市下宮町88-1

【PROFILE】 1972年(昭和47年)和泉市生まれ育つ(下宮町)和泉市立横山小学校/和泉市立横山中学校/堺山学院小学部/和泉市立横山小学校/和泉市立横山小学校PTA会長・顧問/同志社大学商学部 卒業/大阪大学大学院 都市経営研究科在籍中
宮城・班長/元和泉市立横山小学校PTA会長・顧問
元地域教育協議会 柳ヶ瀬尾つ子の会 会長・顧問
大阪維新の会 維新政治塾1期生 卒業
櫻井まじこ塾頭 クローバーリーダー育成塾 卒業
2016年 和泉市議会議員初当選(現在1期目)



- 2020年度から始まる新学習指導要領への対応について
 - ⇒ 英語の教科化への取組みが各学校により異なることへの問題提起をし、学校裁量ではなく、教育委員会としての「ニシアゲ」の発揮により「使える英語教育」の実現を要請。
- <令和元年9月>
 - 待機児童問題について
 - ⇒ 子育てをしやすい環境整備のために、市民ニーズの把握と計画を柔軟に見直す事を要請。
 - クローラー設置と今後の学校施設整備について
 - ⇒ 公共施設の約40%を占める学校施設整備に特化した「教育施設整備基金」の創設を要請。
 - 投票所の在り方について
 - ⇒ 期日前投票所の利用が増加傾向にあることから、さらに利便性を高めるため、期日前投票所の増設を要請すると同時に、コスト増とならないように既存投票所の再編を再度要請。
- <令和元年12月>
 - 「使える英語教育」の実現について
 - ⇒ 現在のALT(外国語指導助手)13名体制に対し、各校最低1人以上の配置の必要性を訴えとともに、その財源についても交付税の活用ですべてが賅える点を指摘。その結果、配置人数についても検討するという前向きな答弁を得た。

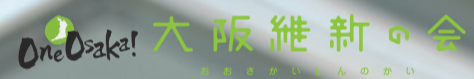
- <平成30年6月>
 - 自転車を活かしたまちづくり
 - ⇒ 自転車安心して走行できる環境づくりとヒルクライムの聖地である「網谷峠」、急峻な地形を活かした横尾川ダム跡地の利用を要請。
- <平成30年9月>
 - 泉州基幹農道未整備区間にについて(30%)
 - ⇒ 残り2kmの事業化により一定の効果は見込み必要性は認識との回答を得た。また、後継計画である「開発プラン」にも継続検討項目として位置づけられることとなった。
 - 本市の児童環境について(75%)
 - ⇒ 市内公立小学校の制服化を提案。
 - ⇒ 学期末における持ち帰り教材の分散化を実現。
- <平成30年12月>
 - 災害時協定の現状とあるべき姿について(80%)
 - ⇒ 前回要望の災害時に実施するために履行能力の確認が行われた。また、前回質問では考えられていなかった、協定のまき直しも検討された。
 - 南部地域の買い物難民支援について(75%)
 - ⇒ 買い物難民対策として買い物困難地域における移動販売の実施を要望。
- <平成31年3月>
 - 施設更新における民間活力の活用について
 - ⇒ 財源不足により実施できない施設更新への民間資本の活用について新たな方策を提案。
 - 公共的な空間における受動喫煙防止対策について(100%)
 - ⇒ 和泉中央駅、和泉府中駅付近での路上喫煙禁止と喫煙所の設置が実現予定。また、現在建設中の新行舎においても敷地内禁煙が実施される予定。
- <令和元年6月>
 - 森林環境税・森林環境譲与税の創設と森林経営管理法の制定に伴う本市の取組みについて(100%)
 - ⇒ 直後の9月議会において「和泉市森林環境譲与税基金条例」を制定。

一期4年間の実績集

ISHIN ZENSHIN
市政報告 Vol.11



大阪維新の会 和泉市議会議員
いいさか光典 みつりの



今こそ、 維新を。

「2016年 和泉市議会議員選挙」にて、私が掲げた選挙公約の達成度を検証し、3年半の実績を振り返ります。

教育

1

使える英語の取得



小学校低学年からの英語への接触に関しては、大阪府独自の英語学習教材「DREAM」の活用を上げることができた。また、教員への英語教育研修も教科化に伴い充実した。一方、ネイティブ(ALT)の普及は13人とどまり、小学校一校に一人の常時配置までは至っていないが、令和元年第4回定例会一般質問にて「人数」についても検討するという答弁を引き出すことが出来た。

小中学校普通教室へのクーラー設置



当選後初の議会にて、設置を要望。平成29年夏に中学校の全普通教室、平成31年夏に全小学校の普通教室に設置が完了。長年の懸案事項を就任1期目で実現。

教育バウチャーの支給



平成29年第3回定例会にて質問し実施を要望。

「いずみ希望塾」では補えない部分があり、拡充手段としてバウチャー制度の導入を要望。大阪市の事例を研究するとの答弁を得たため、引き続き導入へ向け取り組んでまいります。

留守家庭児童会の民間委託とサービス拡充



開所時間を午後7時まで延長。事業の民間委託について検討したが現状よりも費用がかかるとのこと。次の一手として、提案型(プロポーザル方式)のPFIを実施するよう要望予定。

子ども医療費助成の拡充



中学3年生にまで拡充を実現!

生活保護受給の適正化



ケースワーカーの増員を要望中(対平成29年度1名増、標準数からは9名の不足)
生活保護受給者は減少。ジェネリック薬品の利用促進による医療扶助費の圧縮により
扶養費合計が初めて70億円を下まわった。

積極的な高齢者雇用の推進



「地域人材」として高齢者雇用の推進のため、千葉県柏市にて実施のGBER(ジーバー)の研究を担当課と実施、研究中。同時に、指定管理者制度への地域雇用の制度化を提案中。

高齢者地域人材ネットの創設



上述のGBERの研究。
シルバー人材センターとの棲み分けについて担当課と検討中。

福祉

2

議会改革

3

議員報酬3割削減、議員定数2割削減

25%
達成

当選後すぐに議員報酬3割削減を提案、平成29年1月27日、維新の会以外の全ての会派の賛同を得られずに廃案。現在、議員報酬の3割相当額を法務局に供託し、災害被災地へと寄付を行い、我々の覚悟をお示しさせていただいております。現在までに、大阪北部地震の被災地である茨木市・高槻市、昨年の台風19号の被災地である長野県へと約340万円を義援金として寄付をさせていただきました。また、只今、議員定数の削減を議会改革検討会議に提案、議論中。

決定できる議会を実現

50%
達成

大阪維新の会として、民意を反映できる議会改革の実現の第一歩として、採決の透明化を提案中。

議員間討議の制度化

未達成

議会基本条例の制定を含め、検討を進めてまいります。

空き家バンクの創設

100%
達成

和泉市版空き家バンクの創設を実現。現在制度として稼働中！

農地バンクの創設

100%
達成

大阪府の中間管理機構実施による制度を利用し、スケールメリットによる効率化を実現。

榎尾川ダム建設予定地の積極利用

80%
達成

大阪府との連携により事業計画が進行中。

図書館・図書室の蔵書数アップ

100%
達成

図書館・図書室ともに蔵書数のアップを実現！
さらなる拡充のため書架不足の解消を要望。

まちづくり

4

防災・防犯

5

小中学校の耐震補強と学習環境の整備

75%
達成

学校校舎の耐震化は全て完了。令和2年度に体育館の耐震改修が全ての学校において完了予定。その後、校舎の大規模改修に着手とのこと。

防犯カメラの増設

100%
達成

通学路を中心に拡充! 新たな危険個所にも随時対応予定。

ヘリポート基地の増設

100%
達成

ヘリポートとしては北部、中部への設置だが、南部リージョンセンターの利用を可能とすることが出来、市域全域をカバーできるようになりました。

一般質問による要望の進捗状況

市議会議員の任期は4年。年間4回の議会が開会され、4年で16回の一般質問の機会が与えられており、現時点(令和元年12月末現在)14回の議会全てで質問をさせていただきました。(24人の市議会議員中私を含む2名のみ)

<平成28年10月>

- 小中学校のエアコン設置(100%)
⇒ 令和元年夏に全小中学校にて設置完了。
- 公立小学校の英語教育について(50%)
⇒ 公立小学校英語学習6カ年プログラム「DREAM」の拡充を要望。
ALT(外国語指導助手)の各校配置については継続要望事項。

<平成28年12月>

- 図書館の蔵書数について(100%)
⇒ 蔵書数は図書館、図書室ともに確実に増加。
- 工事後のアスファルト補修について(100%)
⇒ 公道の本復旧時に、適切に対処。また、問題箇所については再施工を実現。

<平成29年3月>

- 観光施策について(50%)
⇒ 久保惣美術館や市ホームページ(令和2年3月のリニューアル時予定)の多言語化がはかられた。公共施設でのWi-Fi設置が進んだ。
- 南部地域の活性化(50%)
⇒ 和泉市農業振興研究施設の在り方を提案。
榎尾川ダム跡地の有効活用について基本コンセプトを守った賑わい(アスレチック・サイクルパーク等)の創出。

<平成29年6月>

- 中学校の英語教育について(50%)
⇒ 中学校の英語教員のスキルアップが必要であり、教員の本分である教えることに集中できる環境の創出を提案。

○自習室の増設について(30%)

⇒ 問題意識の共有は出来たが、指定管理者制度の巻き替え時に再要望予定。

<平成29年9月>

- 「教育バウチャー制度」について(30%)
⇒ 「いずみ希望塾」は学力の底上げを目指したが、同時にできる子をさらに延ばすことも必要であり、一歩先を見据えた支援策として「教育バウチャー制度」の導入を提案。
- 災害時の避難所について(50%)
⇒ 平成28年の熊本地震、平成29年九州北部豪雨におけるボランティア活動における経験から質問し、指定避難所の整備が確実に前進。

<平成29年12月>

- 空き家対策、和泉市版空き家バンクの創設(100%)
⇒ 平成30年10月に「和泉市空家バンク」を開設。
- 期日前投票所と既存投票所の在り方について(50%)
⇒ 駅近の期日前投票所を令和元年の参議院議員選挙から前日1日だけが新規開設。既存投票所の再編について必要性を認識し、再編に着手。
- 災害への対応と今後の課題について(50%)
⇒ 台風21号での被災経験を今後の災害対応に活かす事を要望。

<平成30年3月>

- 実働する災害時協定について(50%)
⇒ 災害時協定の本来のあるべき姿について提案。
- 英語教育について(60%)
⇒ 公立小学校英語学習6カ年プログラム「DREAM」の拡充を実現(2校→13校)小中9年間の系統性あるカリキュラムにより英語力が向上。